

地域相談支援フォーラム in 近畿

がん診療連携拠点病院と
がん患者団体との
より良い「連携」と「協働」のために

NPO法人ささえあい医療人権センターCOML
理事長 山口 育子

NPO法人

ささえあい医療人権センターCOMLとは

- 1990年スタート、2002年NPO法人化
- 自立・成熟し主体的医療参加ができる賢い患者を目指す
一人ひとりが「いのちの主人公」
「からだの責任者」の自覚から
- 対立せず協働 ⇒活動の目的
より良いコミュニケーション
- 思いを言語化し、提言・提案できる患者・市民の増加が願い

COMLの活動 (2015年12月末現在)

講演: 3518回

各種検討会・委員会

相談: 55569件

SP活動: 1382回 (OSCE374回)

病院探検隊: 80回

患者塾: 218回

患者と医療者のコミュニケーション講座: 91回 (出前16回)

医療で活躍するボランティア養成講座 (2009年度~7期)

患者の意識の変遷

90年 「お任せ」で受身の姿勢

95年前後 権利意識の高まり

ソリブジン事件 阪神・淡路大震災 薬害エイズ事件

97年 コスト意識の高まり

自己負担増 不況の深刻化

99年 医療事故・ミス報道の過熱化

横浜市立大学医学部附属病院

都立広尾病院誤薬投与死亡事件

杏林大学医学部附属病院割りばし事件

00年 医療者からの相談が顕在化

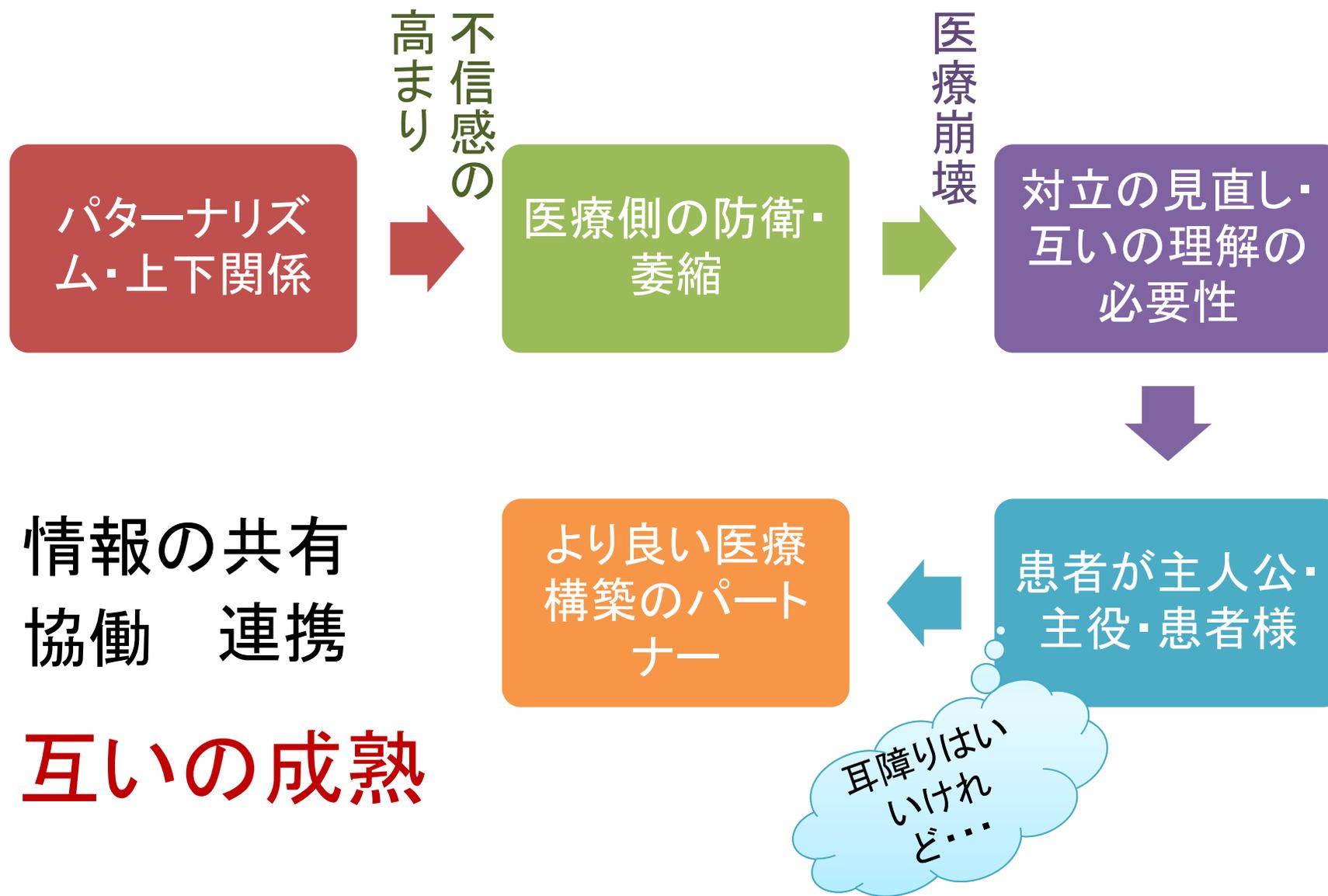
03年 医療不信がピークを迎える(~04年)

07年 「医療崩壊元年」



医療不信
の急増

25年の活動で感じてきた医療界の変化



患者・市民に求められる役割の変遷

- 90年代後半から各種検討会・委員会に参加要請
- 不信感の高まりから「患者の声を聴く」必要性
⇒「患者・利用者の立場を入れなければ」
- 2010年以降は“実働”も求められるように
- あらゆる場面での参加要請は高まる一方
各種検討会・倫理審査委員会（開催要件）・地域医療構想・診療ガイドライン作成・特定機能病院外部監査委員…

患者・市民が追いついていない

患者を取り巻く医療の課題

- 医療安全対策
- 医師不足
- 救急医療の危機
- 入院期間の短縮
- 病診連携

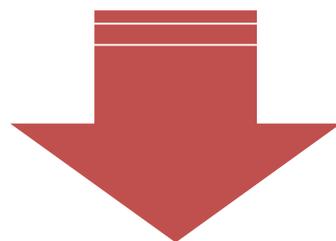
患者も原因・
現状を理解
する



“共に”医療のあり方を考える

時代の変化に伴う要求

- 医療者に主導権⇒患者と医療者の“協働”
- 地域医療への市民の声と参画
- 個人的な経験や意見⇒冷静・客観的な意見



**医療を理解して参加し
協働できる患者・住民の必要性**

医療で活躍するボランティア養成講座

講座1	医療で活躍を期待されるボランティアとは	講座の目的 COMLの基本姿勢と活動紹介 ボランティアとしての心得 各種ボランティアの紹介
講座2	医療の基本	医療の変遷(制度、できごと、患者の権利の発展) 医療機関や専門職の種類と役割 医療現場の課題 医療費の基本
講座3	医療相談の実際	COMLの相談対応の基本姿勢と実際 相談から見える患者の意識の変遷 相談対応に必要な情報と姿勢 相談内容の紹介
講座4	医療を知る I	病院選びと賢い患者の心構え セカンドオピニオン 医療費の知識
講座5	医療を知る II	医療にまつわる社会的な知識(納得できないときの解決方法、個人情報保護法、成年後見制度など) 薬にまつわる情報(治験、ジェネリック、医薬分業、副作用被害救済制度など)

1講座:3時間 6期開催 約350名参加

変化し始めた患者・市民の意識

「医療にまつわる何かがしたい！」

お世話になった恩返しがしたい

もっと医療のことを知りたい、学びたい

同じ立場で患者さんの支援がしたい

外からの風を吹き込みたい



知識を得る 制度・しくみを知る 課題を学ぶ



さらに知りたい意欲

⇒協働できる冷静な患者・市民の増加

さらに成熟した患者へ

- 自分のからだ・病気への関心
- 医療者や医療現場への理解

深まる

私にできることは
何だろう……？

医療が個人的な問題から
社会的な問題へ

意識の変化

患者・住民の参加を推進するために

漠然とした掛け声⇒意識化の必要性

どう参加できるのか

なぜ参加する必要性があるのか

参加することでどんな効果や変化が期待できるか



現状の理解を求める努力が不可欠



役割分担による協働が実現

互いの得意分野の理解

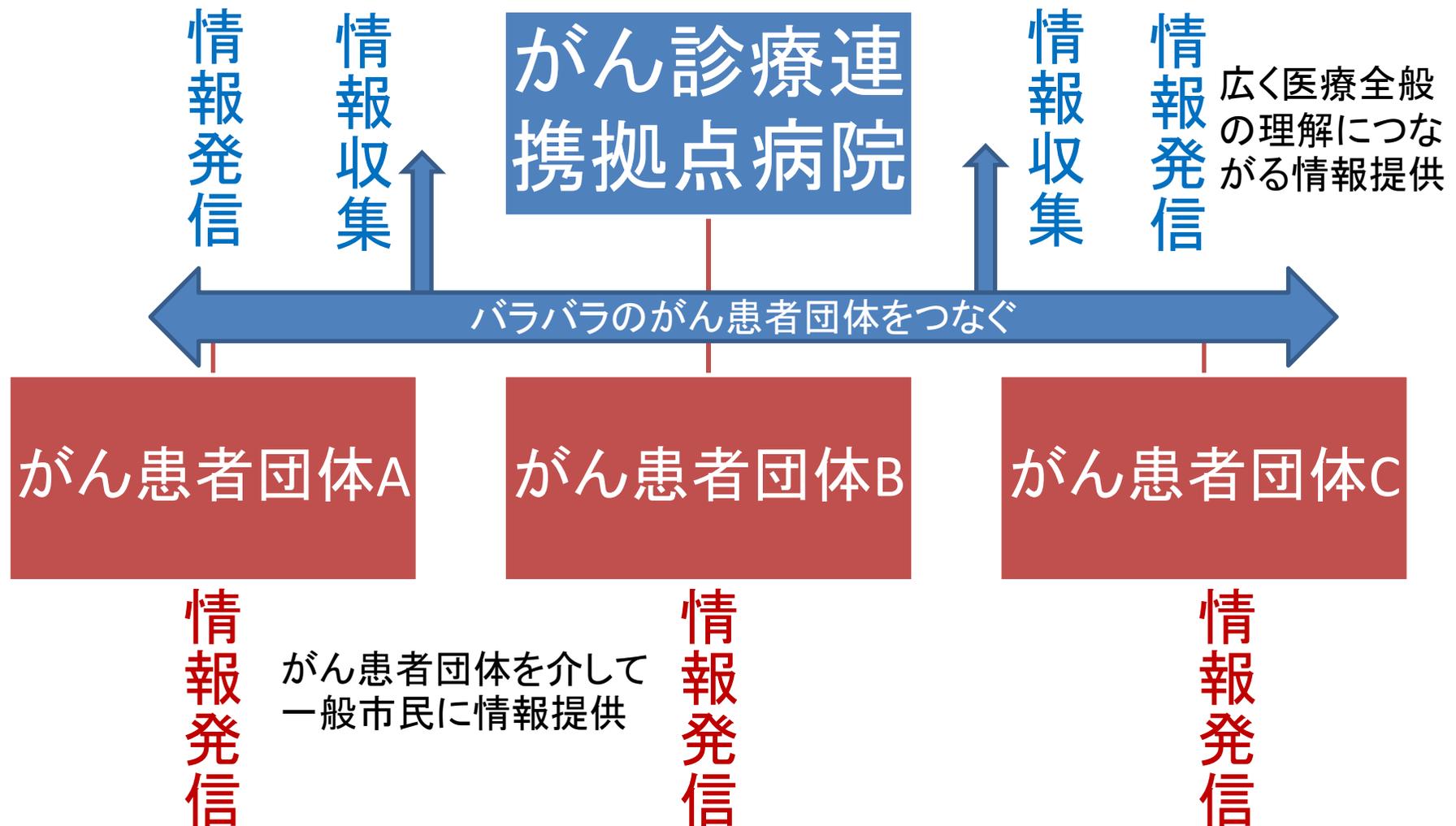
がん診療連携拠点病院

- 情報
- 相談支援体制
- キャンサーボードによる患者支援
- 専門・認定看護師や薬剤師
- 緩和ケア
- 地域との連携

がん患者団体

- 体験に基づく患者情報
 - どんな情報が足りないか
 - 何に困っているか
 - 何を得たいか
- ピアサポート(共助)

互いの足りないことを補完できる関係づくり



「連携」と「協働」の実現のために

